

ONQUKU

おんじゆく 広報

No.82

昭和45年新春号
千葉県御宿町役場 発行



この子らを事故から守りましょう

調和と秩序ある発展

大いなる成果目ざして 飛躍の70年代へ第一歩

町長の年頭所感



慮に耐えないものがあります。道路整備を急ぐとともに標識の増設、運転者、歩行者に対する交通指導を積極的に行ない事故防止の徹底を期したいと思います。

子どもの広場をつくりたい

社会福祉の向上は、老人対策、身障者、低所得者、児童福祉など非常に幅広い範囲にわたり、特に意を注がなければなりません。関係役職員とともに誠意をもつてことにあたる考えです。

思います。社会教育面の活動も逐次、軌道に乗ってまいりましたが青少年の健全育成とあわせて町ぐるみの運動を展開し、次代をなう彼らに大きな期待をかけようではありませんか。

一般町道の改良を進める

道路整備事業は、国道については若干の不備のほかはほぼ完了し、駅前通りが、新しく県道として三月開通の見通しです。町道については、布施地域の幹線がそれぞれ補助事業として、着手しましたので、本年はこの促進と町内一般道路の改良舗装を積極的に施行するよう努力します。

交通安全改り増は、まことに憂

の技術向上にさらに研究を重ねることが急務であると思います。従来からつづけております魚礁の設置による磯根資源の増加からさらに養殖、栽培へと積極的に進む時代であり、両組合と協力、その推進を図りたいと思います。

教育環境の整備は、御小の屋内体操場の三月竣工により一応完了しますが、中学校の内部施設についても、今後、十分改良を図りたいと考えます。

学区制を再検討する時期

つぎに町内三小学校の現況から総合的に学区の再検討を加え、また学区民の意見を十分考慮のうえ本年中にその方向を決定したいと

一方、成田空港、東京湾横断橋東線の複線電化、国道整備などにあいまって、観光による発展はますます期待される状況となりますので受入態勢の充実を期する考えであります。

農漁業の推進を積極的

町の基幹産業である農漁業の振興は、総合農政施策と相まって、園芸、畜産などの経営拡大を順調にすすめます。これからの農業は食生活の高度化によって需要がさらに大きく変わっていくことが考えられますので、今後の大きな課題です。

漁業は、漁船の改良についてはめざましいものがありますが、そ

謹んで新年のおよろこびを申し上げます。希望に満ちた昭和四十五年の新春を迎え、町民の皆さまとともに心を新たに、意欲的に町政の進展に取り組み覚悟でございます。

「調和と秩序ある発展」を目標に、さきに長期総合開発計画を策定し、その積極的推進を図るため五カ年ごとの実施計画を定め、各般の事業を進めてまいりましたが、おおむね九十パーセントを達成し第五年目の本年は目標百パーセントを達成するよう一段と努力いたします。

県が昨年発表した、南総開発計画のなかで、当町が観光の重点地域として、指定され、その拠点づくりのため、岩和田の小浦から岩船地区に観光施設を計画しておりこの用地買収も住民のご協力を待って順調に進んでおります。



観光開発基本計画

—その1—

観光の現況と今後の方向

いままでの産業形態からみて、今後町が観光産業で生きなければいけないということは、大多数の町民が認めています。

しかしながら観光の現状は、夏期一シーズンにかたよっております。そこで、どのようにして、四季観光地への脱皮をはかるか真剣

に検討されてきましたが、健康で明るい観光地、住民参加と住民利益、観光演出の三つのテーマを目標とした観光開発の基本的構想がまとまりました。この計画をここに発表し、みなさんのご理解ご協力をお願いしたいと思います。

観光旅行が年々その量を増し、国民生活上の意味も重大になりつつあることはいままでもない。昭和四十二年の全国の観光地入込数は延九億二千五百万人であり、対前年度比は百十三パーセントであった。これは、昭和三十八年の一、五倍に相当する。この数は日帰旅行も含まれているが、総理府の「全国旅行動態調査」によれば、昭和四十二年の一泊以上の旅行量は三億五千万人、うち観光旅行は二億人と推計されている。旅行量は毎年十パーセント以上の成長率を続けてきており、今後も所得の向上余暇の増大、生活目標の変化などによって、ますます増加の一途をたどるであろう。最近、経済企画庁がまとめた新全国総合開発計画において、観光レクリエーションが国土利用の上で重要な地位を占めるに到ったのは、このような観光レクリエーション需要増加に答えようとしたためであろう。国民生活審議会では長期的予測として次のような数字を掲げている。すなわち、昭和五十年のレジャー支出の年間総額は八兆八千億円で昭和四十年当時の二、四倍。種類別支出では国内旅行五倍。海外旅行六倍。行なうスポーツ六倍。見る

スポーツ二、六倍。このように観光旅行は量的に増大しているのみならず、その内容意味において変化しつつある。従来の観光旅行は抑圧された労働から解放され、日常の欲求不満を発散させる機会であった。つまり生活の安全弁としての消極的意味しかもっていない。しかし今後の余暇は、労働のウラ側ではなく、それ自身意味のある行為になるであろう。労働と同じ比重をもった時間となる。人間回復の場へ、個性を伸ばす場創造力をつちかう時となり、生活のサイクルの中で重要な意味をもつようになる。休養により肉体的疲労が回復し、レジャーによって精神的疲労が回復し、創造のエネルギーが湧き、それが、労働の中で生かされるといったサイクルを描く。今後の観光旅行の方向として、団体旅行から小集団旅行への移行とか、長期滞在旅行とか、広域化する旅行とか、モータリゼーションの影響等が現象としてあげられるが、観光旅行の意味が、浪費の場から、人間創造の場へ変わりつつあることをまた変えなければならぬことを忘れてはいけ

その筋に交渉を続けた結果近いうちには打開策もようとしています。駅待合室の設置も国鉄当局との話し合いを続け、皆さんの不便を一日も早く解消するよう努力したいと思えます。このほか要望が山積しておりますが、財政的にも限度があり、直ちに全部に應じられない現状でありますので「公正に

して重点的」を信条に町政を進めることになりま。しかしながら何としても「住民の意志に直結し住民の立場に立った」行政でなければ、その効果は促進されません。町は、いま外房で最も知名度の高い観光地として、発展の転機にあることはご存知のとおりでありますが、終極は町民の福祉につな

がるものでなければなりません。以上のような運営方針をもとに、ことしこそ全職員、自覚を新たに、町民全体の奉仕者としての信念に徹し、努力することを誓い申し上げます。飛躍への第一歩を皆さんとともに力強く踏出します。頭のごあいさつといたします。

一般会計 3億円をこえる大型予算に

追加予算など6議案を可決



第四回定例議会

四十四年度の掉尾をかざる第四回定例町議会は、十二月十七日午前十時より開かれ、じん芥焼却場建設の工事契約や、追加補正予算、四十三年度各会計（一般、国保、有線）の決算の認定など六議案を審議しました。今年度二回の追加補正によって、はじめて三億円をこえる大型予算となりました。町長より各議案について提案説明があったのち、質疑に入り、いずれも原案どりを可決されました。つづいて一般質問に入り、五議員より質問がありました。

各議案の提案理由および質疑は次のとおり（要旨）

●御宿町漁業近代化資金利子補給条例の一部改正

いままでは漁具のみに融資していたが、七月一日から、漁具その他の事業などにも融資するようになったため。

●じん芥焼却場建設工事に関する契約の締結について

工事の特殊性があるので、一般競争入札には問題があるので、調査研究の結果、二社にしほり、見積りをださせ、三機工業に仮契約しています。工期や契約金、工事

保証人について質問がありました。工期は十二月から来年七月末まで契約金は千七百六十万円、工事保証人はつけません。契約までの経過は、県内外の視察をした結果三機工業にきめました。ついで焼却能力について、質問がありました。一日八時間稼働で五トン炉を二つ作るという契約をしました。他に五トン増設する予定がありますが、現在の炉は、固定式ですが、今後はロストルが動き、だいたい水ものでも燃えます。工費は起債が七百万円で、国庫補助が二百万円などで、本体工事費は七百三十万円です。

●四十四年度一般会計予算の補正について

これは、国庫の補正により補正せざるをえなかったのですが、高校期成会に対する助成金が七百万円、土地問題訴訟経費として裁判保証金など四百万円を計上、一般管理費が千百万円、企画費の百八十万円は、浜地域の漁民から住宅建設の要望があったので、組合倉庫の地域を整備して分譲することになり、移転の保証金として追加しました。農業振興費は米の不作の対策費として、予算の許す範囲内で二百六十九万円計上しました。

水産業費の五十四万円は漁礁の工費です。道路改良費二百四十三万円は現在施行中のもので、予算不足のものを計上しました。教育費の屋内体操場は二十日ほど工事が遅れているが、卒業の時期には、完全に仕上げられます。設備費として、ステージのどん帳八十万円、イス百二十万円、テーブル二十七万円、落成式の費用など二百三十二万円を計上。その他体育施設、放送施設を計上しました。歳入は財産収入、起債をあて、補正総額が三千六百一十一万円で予算総額は三億二千七百六十六万円という巨額になります。

●昭和四十三年度御宿町一般会計歳入歳出決算の認定について

町有財産の処分をしなければ学校や土木工事もできない状態をどう考えるかとの問に対し、財産処理を考えない町の情勢は、他町村以下だと思います。他にダム調査の推移については、設計はできあがっているが、農政局で四十五年度採用になるもようです。

●昭和四十三年度御宿町国民健康保険歳入歳出決算について

●昭和四十三年度御宿町有線放送特別会計歳入歳出決算について

いずれも原案どおり可決。

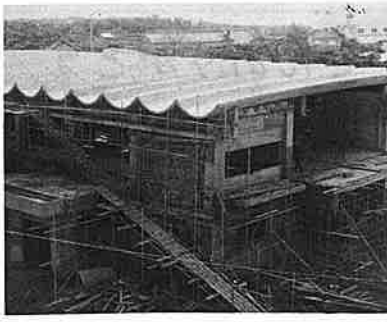
学校プールの建設は

小池健議員 当町内児童、生徒の水泳の技術および体位向上を考慮すれば学校プール建設は絶対に必要である。

高齢者および身障者で日常生活に支障のある者が相当数いると、思いますが、老人福祉の目的実現のため奉仕員の設置が急務と思うが。

岩井町長 県から観光用プールの補助があるので併用したい。

岩瀬住民課長 奉仕員を公募してそれから対策をたててゆきたい。
君塚久仁治議員 小学校三校の統合をしたらどうか。負担金や児童



数、教育効果を考えた際、統合し方がよいと思う。

岩井町長 統合以前に布施小新築の希望が強いし、今後十分考えた

町有地分譲の目的は

高梨秀治議員 従来観光発展を目的とした町有地分譲は本来の目的を達せないことが多いと思うがどうか。

岩井町長 今まで二、三つまずきましたが、調査方法がないと思うので、これからは委員会とか協議会とか作って慎重に検討していきたい。

観光開発の順序は

君塚嘉兵衛議員 県有砂防林の払い下げについて。

観光開発基本構想ができたが、どのように実行してゆくか。御宿駅の待合所の設置についてどう考えているか。

岩井町長 県の態度は、立派な町の基本構想に基づいてなら協議にのるといふことである。現在、地

曳橋を渡って左側の砂防林の払い下げを折衝している。

計画は全部やりたいが、順序として来年はプールにしほって予算要求していく、次いで太陽の広場を作って海浜公園を整備したい。

その次にバスターミナルと平行して駅前ショッピングセンターを進めたい。また、駅の待合所の設置は町が全額だすなら考えようと答弁があったが、これからのいろいろ陳情していきたい。

管理職手当の支給を

石田行雄議員 管理者に対して管理職手当を支給したらどうか。

町有地の処分について新たに審議機関を設けてはどうか。

岩井町長 私も前から考えていたが新年度から実施したい。土地処分については評価委員会を作っていますが、委員会は評価が主ですので今後内部とも相談して早急に結論をだしたい。

花のある観光地に みんなで花を植えよう

—花いっぱい運動—

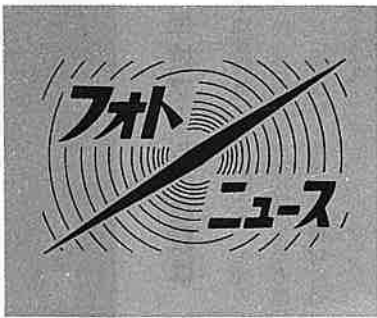


花の手入れは楽しい日課です

桜は日本を代表する花として世界に知られていますが、近年桜の名所が次々に消えてしまい、外人観光客に失望を与えているということです。

花は人の心をなごやかにし、自然の恵みを私たちの心によみがえらせてくれます。御宿も年々観光地として発展しておりますが、観光客を迎え入れ

第一の心構えとして、天与の観光資源である自然美の保護はもちろんですが、観光地域に四季折りの花を植えて観光客の目を楽しませることも大切なことです。御宿に行くといつでも花が咲いている——。と言われるように、町では月の沙漠公園、海岸入口、砂防林周辺に、タンパス、月見草ソテツ、ハボタン、カンナを、さらに浅間山にアジサイを植えて、花いっぱい運動を進めます。ことし建設した月の沙漠記念像は除幕以来大変な人気を集め、夏の観光客誘致に大きな力となりました。そして秋には国鉄の海の幸エックに指定され、引き続き観光客に愛されています。このように夏以外でも多くなってきた観光客のために、一本でも多くの花を植えて、御宿は美しいという印象を強調したいものです。観光客と特に関係の深い、ホテル、旅館、民宿、商店などはもちろんですが、一般のご家庭でも、家のまわりに一本でも多く花を植えて、この運動にぜひご協力くださるようお願い致します。なお苗木のあつせん、花壇コンクール、菊花展などを逐次行なう予定です。



さんたのおじいさんありがとう

おおきなふくろをさげた、さんたのおじいさんが、よいこのいるほいくえんに、おいしいおかしをたくさんもって、やってきました。

くりすますいぶのにじゅうよっか、だいにほいくえんのおゆうぎしつはたいへんにぎやかでした。さんたのおじいさんは、ひとりひとりとあくしゅをして、らいねんもおりこうでほいくえんにいらっしやいとみんなをばげました。



よいこにごほうびをあげるさんたのおじいさん



海岸は

いつも

きれいに

旅館や民宿、海岸売店の関係者が前後二回にわたって海岸の清掃をしました。

いつも美しい海岸にしておこうと、町や観光協会ではいろいろと手を打っておりますが、心ないひとが、川や海岸にゴミをすてるのでよこれがひどく、関係業者の協力を求めました。

美しい海岸をまもるためにみんなで正しいゴミ処理を考えましょう。

おとなへの 巣立ち

成人式

成人の日の15日、家政高校講堂で20歳の式典が行なわれました。

ことしおとなの仲間入りをした若者は200人。激動の70年代を担う彼らに心からおめでたうのことはおくりましょう。



小春日和に整然と

出ぞめ式

小春日和の正月七日、御宿小校

庭で恒例の出ぞめ式が行なわれました。八分団に合理化統合された精鋭二百数十名が参加し、団長の訓示を受けたあと、服装や機具点検をし、放水試験が行なわれました。なお団員で次の方々が表彰されました。

知事功労章 鶴岡秀雄

県消防協会長功労章 岡村甲純

知事精勤章 水上定雄 齊藤政夫

山口久雄

県消防協会長精勤章 吉田了司

鳴田梅男 井上峻

消防協会夷隅支部長功労章 吉田

良夫 吉野俊雄

消防協会夷隅支部長精勤章 鈴木

茂雄 吉野利雄 神定忠 増

田益雄

御宿町長功労章 鶴岡七郎 石井

蔵治 花崎実 黒田満 式田

晴夫 鈴木幹雄 東岩庄一郎

吉野啓明 井上行雄 石井高

夫

御宿町消防団長精勤章 鶴岡恒二

井上邦彦 松沢寅男 神定敏

夫 岩瀬恒行 幸保恒男 吉

野操 吉野正美 井上操 嶋

津力男



“事故〇”のくる日までみんなで運動

交通事故死史上最高におもろう



手をあげて渡るよい子に笑顔で止まれ

昨年、交通事故による死者が史上最高を記録したという悲しいニュースで暮れました。

事故による死傷者を“ひとりでも少なく”というわたしたちの悲痛な願も空しく、事故の記録は更新されそうな勢いです。

しかし私たちは、事故〇の日のくるまでくじけずにこの運動をつづけよう。

婦人の細かい神経を道路にむけてみると、いろいろと事故につながる要素が目につきます。

例えば、ガードレールが広すぎるとか、自転車にバックミラーがない、テールレンズがない、商店の飾りつけや商品が我もの顔で路上にでっばつているとか。路上で交通指導をしていると、はつとさせられる場面によくあひます。

交通事故発生状況を見ると二十歳前後で免許を取ってから二年が断然多いという数字がでてきます。

井桁 そうですね、若いひとの無謀運転には、いかりさえ感じま



す。彼らは“カッコイイ”って気持ちで乗り廻しているんですね。自ら事故を招いているのが実情ですね。

事故絶滅への願いとか、日頃運転しているのモットーといったことを。

井桁 おかあさん（婦人会なども）たちに機会あるごとに、やさしい交通法規を身につけてもらえたらと思います。私は、年齢を考えずに車を運転するように努めています。若いのだと自分にいいきかせて運転しないと運動神経がにぶって、動作が緩慢になります。

井桁正子さん（協力安全協会御宿支部婦人部長）

くるまのおじさん

岩和田小一年

ふじいあけみ

うんでんしゅさん、このころ、じどうしゃがたいへんふえてきてわたしたちはとてもこわいです。ですからきをつけてくださいね。おさげをのんだとき、ねむいときつかれたとき、うんでんしゅしないでくださいね。右手をあげてわたるところをみたら、すぐとまってくださいね。

あめの日は、あたりがよくみえないと思います。まがりかどにきたらきをつけてくださいね。わたしたちも右がわをきちんとあるきます。かさをさしてあるくときもじゅうぶんきをつけてます。

わたしの父

岩和田小四年

椎木恵美子

わたしの父は、酒のみです。ときどき夜、おそく帰ってきます。

だから、みんな心配して父のかえ
るのをまっています。

テレビで交つう事故で死ぼうなど
と、聞くと父がやったのではない
かとどきんとします。

わたしはときどきゆめをみます。

それはよその人が事故をおこして
うんうんうなっている顔が、いつ
のまにか父の顔になっています。

そして泣いてしまいます。目がさ
めてもなみだがでてしまいます。

ああ父でなくて幸せだなと、思い
ます。今は幸せでもいつ、事故が
あるか、わかりません。

父がでていくとき、いつも後から
父ちゃんきをつけてね、とそつと
口のなかでいってしまいます。

オートバイを おいてかえる父

岩和田小四年
殿岡 武

ぼくのお父さんは、お酒をのん
でもオートバイで行ったときはオ
ートバイをおいて帰ってきます。

朝になると「オートバイがなくて
こまっちゃうな」と頭をかきま
すと家の者が「でもオートバイ
で帰ってくるより、そのほうがい
いよ」と笑います。ぼくもそのほ
うが、いいと思います。これから
も、お金はかかるけど、忘年会や
新年会に行つた時はタクシーで帰
つてきたほうがよいと思います。

進んで献血をしよう

見るがうち、よみがえりゆく
肌の色に

ささげつる血の尊さ思ふ

「皇后陛下御歌」

三十二分にひとりの割合で交通
事故による死亡者がでていると聞
きます。私たちが常に交通事故や
重症疾病、ガン、異常分娩などに

にさらされています。

いつ輸血を必要とする事態があ
なたの上におこらないとも限りま
せん。どうぞみなさん不慮の災害
に備えて献血に協力いたしまし
う。

私たちの町でも交通事故や疾病

による大手術などで輸血により助
けられた人たちが数多くいると聞
いています。こうした方々は折あ
るごとに血液の大切なこと、輸血
のありがたさを人々に訴え、献血
を呼びかけてください。

「私の娘がお産で大出血をしてあ
ぶないところを輸血で助けられま
した。それがありがたくて一日も
早くお返ししようときょうの日を
待っていました。」と新町の伊丹さ
んご夫妻が献血にこられたことが
ありました。自分の血がだめなら
家族、親類のひと、職場の友、近
所のひとを頼んでもお返ししよ
う、こんな気持ちにみんながなつて
ほしいと私は願います。

採血は少しもこわくありません。
むしろ、健康診断のよい機会でき
えあるといえます。それは、事前
に体重、血圧、血液の比重を測定
するなどして、採血可能のひと以
外は採血しないからです。たとえ
ば、献血第一回目とき、せつか
く献血にきてくださった女の方の
うち四十二％位のひとが血液比重
不足（血がうすい）のため、採血
不適當といわれびつくり……。

しかも自分だからだに自信を持っ
ていた人たちが医者から「好きな

ものばかり食べて、バランスのと
れない食事をしていませんか。」
と指導されたひとがかなりありま
した。そうした人は、「献血でき
なくて残念でしたけど自分の健康
状態がよくわかりほんとうによか
った、らい年こそきつと濃い血に

新たに「か婦福祉資金」

母子家庭に対する福祉施策の一
つとして「か婦福祉資金」が新た
に施行されました。

現在の母子福祉法は、児童が二
十歳に達すると、同法の対象から
はずれ、母子福祉資金がもらえな
くなります。そこで国では、つき
のような条件にあてはまる方に、

「か婦福祉資金」を与えることに

して採血してもらいます。」と喜ん
で帰っていきました。
みなさん、かけがえない血液の
不足で苦しんでいる方たちにどう
ぞ尊い健康な血をわけてあげてく
ださい。

しました。また資金の種類は、つ
ぎの十二種類ですが、くわしいこ
とは、住民課または各区の民生委
員におききください。

- か婦福祉資金の対象条件
- 母子家庭
- 満二十歳以上の子を扶養
- 県内に住んでいる
- 四十歳以上七十歳未満

資金の種類	貸付金の限度額	
事業開始資金	300,000	
事業継続資金	150,000	
技能習得資金	月額	2,500
住宅資金	200,000	
転宅資金	18,000	
療養資金	特別	100,000 150,000
生活資金	月額	7,500
結婚資金	50,000	
就職支度資金	25,000	
修学資金	高校	月額特別 1,500 3,000
	大学	月額特別 3,000 5,000
就学支度資金	高校	自宅通学 10,000 自宅外 15,000
	大学	自宅通学 15,000 自宅外 25,000
修業資金	月額	2,500



よろこばれる簡単なおかず

学校給食の実体

献立の偏重に不満

御宿で学校給食がはじまったのが、昭和二十四年。以来、児童生徒の栄養と体位向上をはかり、食生活の改善はまず学校からということで、本格的に採用されだしました。

家庭の食事で不足しがちな動物性たん白質、ミネラル、ビタミン類を給食で補おうとするのです。

ところで現在の給食の実体はどうか――。

全国で千四百万人の対象児童、生徒がいるといわれ、国民全体の食事の量の一パーセントを占めるまでに普及しました。牛乳(一本九円五厘)と脱脂粉乳の混合に小麦粉が国から補助されますので、一食分の給食費が小学校で五十円から五十五円、中学校で五十五円から六十円の生徒負担となります。他に給食運営費として、小学校で月二十円の負担となっています。

町の負担は、給食婦の給料と燃料などとなっており、献立は教育委員会所属の栄養士がたてます。一円でも安く、栄養価の高いものを献立するには、どうしても材料を他町から購入しなければやりくりできないという。

文部省の基準によると、小学校で六百五十カロリー、中学校で八

百五十カロリーをとるよう指導されていますが、基準以上のものをつくるには、給食費の増額という問題がおきてむずかしいようです。

いままでの給食費なら家計を圧迫するまでにならないし、準要保護児童生徒には町から補助も行なわれているので心配はなさそうです。

栄養士や給食婦さんの話によると時間の余裕、施設の都合(御中など)でどうしても献立がたよるという事です。また食中毒発生

の時期になると、食品の取り扱いに神経を集中させなければいけないので、冷蔵庫がほしいという。

生徒の給食の人気はどうかというと、シチュウ、やきソバ、フルーツなどが大好物で、調理の簡単なものが案外喜ばれるという。学校給食にも食事のインスタント化という傾向がうかがえるようです。

パン、ミルク、おかずの基本を守りながら、一日一食はパン食という考え方がよく根づいてきた時に「パン食から米食への移行」という話題もきかれるこのごろです。古米のだぶつき解消のために子どもを犠牲にしないでというおかせさん方の願いにもかかわらず、ここにも政府の農政問題が入り込んできそうな雲行です。



チロルの月の砂漠

届きそうなアルプスの山小屋を仰ぎ見ながら、サンゴツタルト峠を越え、今夜の泊りのインスブルグめざしてひたすら走ってました。その時だからともなく歌う声が聞こえました。「ばらが咲いた」「風」「山男の唄」と歌はだんだん歌声は増して

月の砂漠をはるばると
旅の駱駝がゆきました

夢みるようなメロディーが全員の合唱となって黄昏のチロルの山あいたそがれに流れてゆきました。

私は、思わず目を閉じて美しいコーラスに聴き入りました。

ひとは老いやすいもの。若い世代は幾度変わるうともこの歌が純な若人に愛唱されて、日本国ばかりでなく、永遠に世界のどこかで歌いつがれてゆくことと思いました。

朧にける月の夜を
対の駱駝はとぼとぼと

……私もまた歌いました。

人生は短く芸術は長し——と思

いながら。(東京北区在住 中森しのぶ)
写真11月の砂漠のコーラスで
越えたインスベルック

お祭りについてのアンケート

お祭りについてのアンケート

項目	部 落	久保	新町	六軒町	浜	須賀	高山田	計	百分率
	戸 数	193	400	215	219	285	74	1386	%
①お祭りは今までのままでよいか	回 答 数	151	282	146	126	163	64	932	67
	よ い	56	49	23	8	42	10	188	20
	変えた方がよいか	85	178	104	104	107	46	624	67
	回答なし	10	55	19	14	14	8	120	13

②変えた方がよいとすれば

A お祭りは年何回がよいか	2 回	34	36	16	30	28	17	161	17
	1 回	83	203	103	88	107	45	629	68
	回答なし	34	43	27	8	28	2	142	15
B 年番制でよいか	よ い	45	54	19	16	37	27	198	21
	よくない	64	147	77	97	87	31	503	54
	回答なし	42	81	50	13	39	6	231	25
C 町ぐるみのお祭りはどうか	よ い	90	215	79	110	108	48	650	70
	よくない	19	33	19	9	23	9	112	12
	回答なし	42	34	48	7	32	7	170	18
D 町全体の子どものお祭りに切りかえていくことはどうか	よ い	52	137	76	86	59	15	425	46
	よくない	41	81	32	27	61	40	282	30
	回答なし	58	64	38	13	43	9	225	24
E 時 期	6 月 中	0	春3	4	1	春2	春0	春6	7
	7 月 中	25	44	27	54	39	12	201	
	8 月 中	1	2	1	0	2	0	6	
	9 月 中	26	51	20	36	29	19	181	
	10 月 中	48	秋56	32	22	秋39	秋29	秋226	9
	廃 止	8	9	6	0	4	0	27	
	回答なし	64	94	62	24	60	17	321	

今までとかく問題の多かった八坂神社、春日神社の祭礼の実施方法について氏子総代会でアンケートをとりました。この集計をもとにいろいろ話し合った結果、全面的に改訂するのはまだ時期が早いようなので、部分訂正で除々に改訂すべきではないかと多数の意見により、つぎの二点を改訂しました

- (1) お祭りは年一回実施
年番区の都合で八坂神社(七月七日)、春日神社(十月五日)のどちらかを実施
- (2) みこしは八坂神社のものを使用



お祭り本来の姿

国家神髓を敬うもの

民族の伝統を大切に

お祭りを廃止すべきか、続けるべきかと、町じゅうの話題になっています。そこで、お祭りに深い関係のあるひとに、これからのお祭りのあり方などを聞いてみました。みなさんのご意見もぜひお寄せいただきたいと思います。

当町の場合、氏神を一つに各々が団結し、大へんいい方向に進んできました。そもそもお祭りというものは、国家神道としての行事で、これは大和民族の誇りの一つであると思います。老若男女を問わず、一日みんなで楽しむゆとりは、やはりすてがたいと思います。

ここでお祭りの歴史についてちょっとふれてみましょう。

昔、御宿郷(須賀・浜・久保・高山田)といわれた時代から、各区に神社があり、年番制でお祭り

をやっていました。

ササノウの尊をたてまつってある八坂神社は別名須賀神社とも八雲神社とも呼ばれていました。昔は、須賀、浜区は特にお祭りに力を入れました。なかでも浜区は不漁が続くと、豊漁を祈願して、みこしをかついだものです。以来、お祭りという、みこしをかつぐことだと多くのひとは思い違えてしまったようです。元来みこしはお祭りの添え物であって、国家神髓をたてまつり、敬うものが終戦と同時に神髓が骨ぬきにされ重いみこしをかつぎ、町を練り歩くみこし祭りになってしまいました。今の若いひとは、重いものをつつぐことをきらいます。人手もたりません。大和民族の国事であった、お祭り本来の姿に戻ってほしいといっています。これからは、住民がいかに楽しくお祭りができるか、住民のアンケートでもはっきり結論がでると思います。

祭典の改革もいいますが、遠く大和民族の誇りとして、育まれてきた神髓を、現代の狂った世代に理解していただきたいと思っています。(前町長、井上文吉神宮との対談から)

電話のじょうずな使い方

- 1. より早く 2. より正確に 3. より感じよく
という3つの条件を満足させる必要があります。
誤りダイヤルは、先方に変なめいわくです。



表彰

▲国保事業に多年協力された功績により、国保連合会理事長より

関 和氏

▲多年観光の発展につくされたことにより、県観光協会会長より、

浅野航海氏 吉野要氏

▲読書感想文優秀賞

鶴岡昭子さん

▲書道展特別賞

鶴岡洋子さん

▲保母として職務に精励された

功績により知事より
塩田寿江さん

御宿町の人口

(12月末現在)

男三九〇八八
女四六一一人
計八五一九八
世帯数二二〇八

職員紹介

教育委員会の巻



佐藤喜郎

教育長



鶴岡一成

社教主事



網島 勝

学校教育



田村 翠

栄養士

発行所 千葉県御宿町役場

発行責任者

岩井敏夫

編集者

加藤

長

おめでた



Table containing birth and death records for various districts including 浜区, 新町, 久保, etc., with columns for date, name, sex, and age.

おくやみ